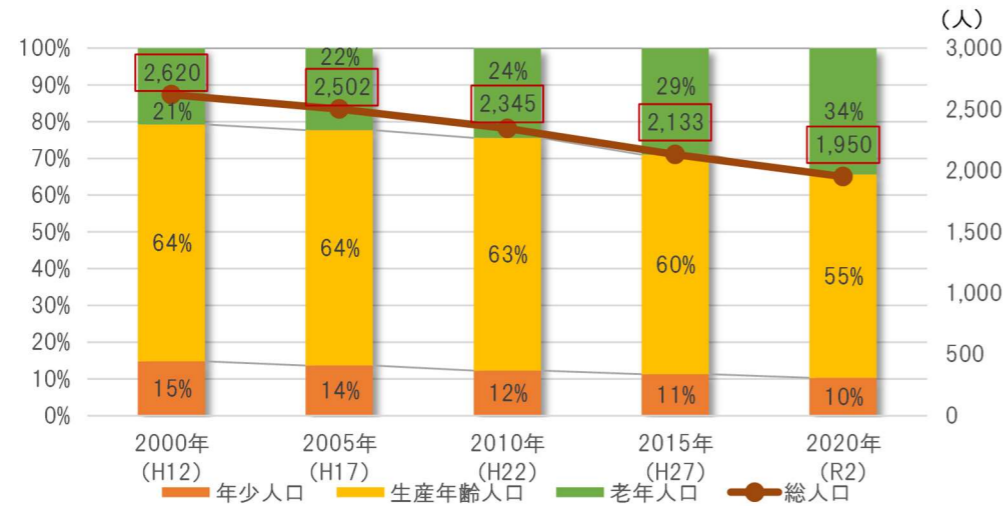


「加茂市都市計画マスタープラン」 須田地域の現況（概要）

人口の推移

○須田地域の総人口は、20年間で38%減少し、令和2年で1,950人となっています。
 ○年齢3区分別人口割合では、20年間で生産年齢人口が64%から55%に、年少人口は15%から10%に減少し、老年人口は21%から34%に増加しています。

【須田地域の総人口・年齢3区分別人口割合の推移】

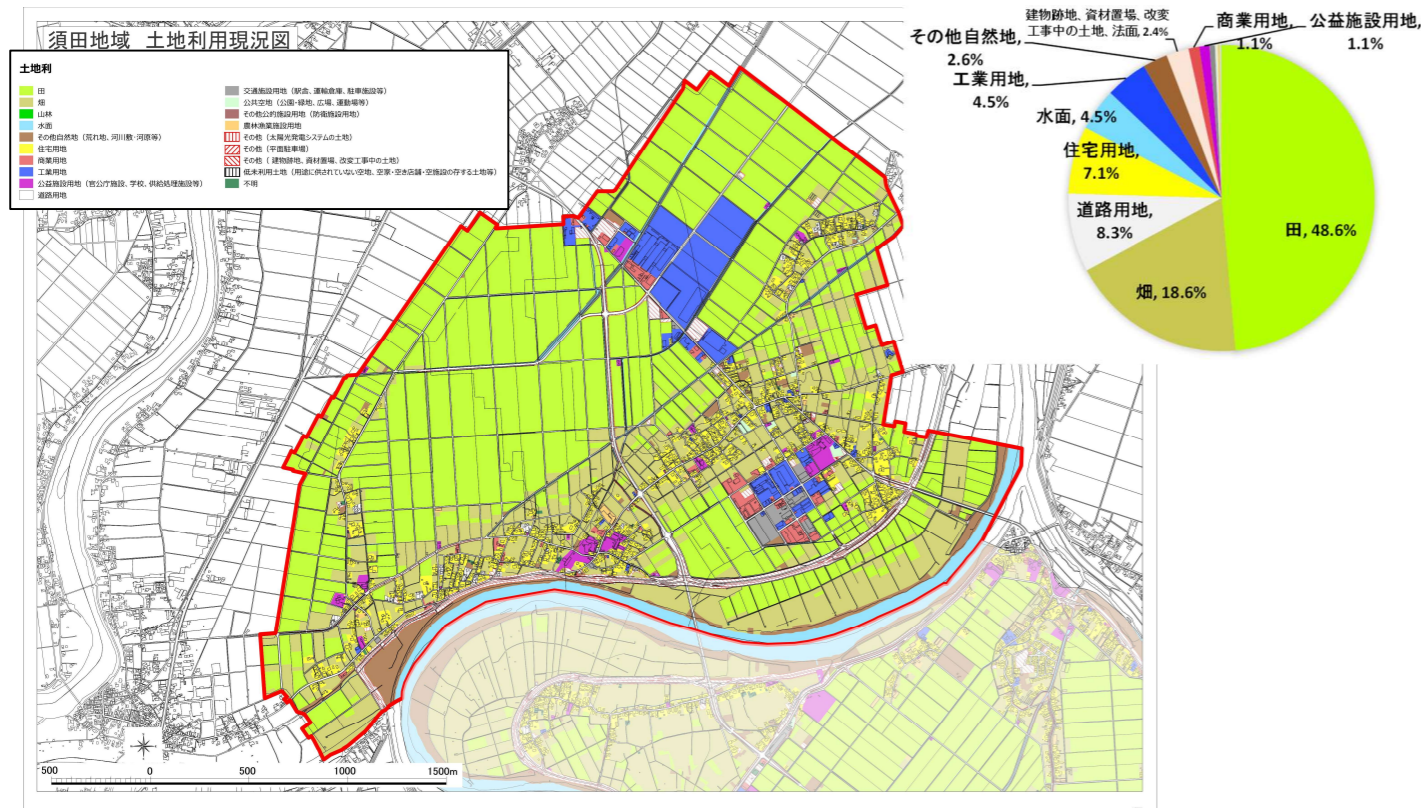


出典：国勢調査

土地利用状況

○須田地域の土地利用については、田が約5割を占めて最も多く、次いで畑が約2割となっています。
 ○田に畑を含めた農地は、約7割を占めています。
 ○住宅用地は7.1%、工業用地は4.5%となっています。
 ○集落に低未利用土地が点在しています。

【須田地域の土地利用状況】



出典：R5 都市計画基礎調査

住民意向（第1回地域別懇談会） 主な意見

須田地域の第1回地域別懇談会での主な意見を以下に整理します。

土地利用	○小売店（スーパー）や飲食店が少ない ○工業団地の活力低下	○工業地と農村集落のバランス ○農業の担い手不足
都市施設	○歩道が十分でなく、子どもの通る道が危ない箇所がある	○交通アクセスが不便 ○人が集まる公園がない
市街地整備	○空き家対策 ○商店街の個性が乏しい	○加茂山公園の駐車場が少ない
景観	○小京都、加茂山公園が活用されていない ○梨、桃、畑から成す景観保全	
防災	○信濃川の対策	
自然環境	—	
その他	○人口減少、子供が少ない ○地区の拠点、イベントがない	○市のPRポイントが少ない ○働く場所が少ない

住民意向（市民アンケート調査） 生活環境について

「加茂市都市計画マスタープラン」策定のために実施された市民アンケート調査（生活環境の重要度・満足度）の結果を以下に整理します。（須田地域の結果のみ抽出）

重要度が高く、満足度が低い項目

- 買い物の便利さ
- 医療施設の整備
- 公共交通機関の便利さ
- 防災上の安全性
- 道路の整備
- 福祉施設の整備

